

学校給食について

乾 充徳 議員

問 学校給食における地産地消の取組の状況は。また昨今の社会・経済状況に鑑みると、保護者の負担を軽減するという観点から、学校給食費の全部または一部を無償化することについて、どのように考えているのか。

答 地産地消の取組については、「J Aならけん大和郡山市経営者クラブ」に地元産野菜の提供に協力いただいております。月3回から4回、地元産食材を多く使った「大和郡山の日」を実施しています。学校給食費の無償化については、毎年多額の公費負担が必要になることから、限られた財源の中で、子供たちを取り巻く環境や学校教育の課題などに対して、どのような施策や支援を優先するべきか、様々な観点から検討して参りたいと考えております。

介護問題について

徳野 衆 議員

問 ①年金引き下げや医療費負担増に続き介護保険料まで値上げでは、高齢者の生活を圧迫する。特に低所得者層のために保険料段階を増やせないか？②矢田地区は地域包括支援センターがなく、職員1名の相談窓口のみ。増員し、センター新設は？③物価高騰などで負担増の介護事業所に対し、利用者の負担を増やさないような支援は？

答 ①高齢者の人口や所得分布状況、介護保険サービス給付費の推計値を基に前向きに検討します。②今後、職員の増員や業務の拡大を進めたいと考えています。③他の自治体とも連携し、国へ国庫負担割合の引き上げを要望しているところですが、市独自の支援は介護保険運営の面で難しいと考えます。

グリーンライフ・ポイント制度について

福田 浩実 議員

問 グリーンライフ・ポイントとは、環境に配慮した日常の行動をポイント化することで、一人ひとりが環境問題を自分ごととし、環境に配慮したライフスタイルの転換への機運を高めるものですが、導入に向けての考えは？

答 グリーンライフ・ポイントは、レジの使い捨てプラスチック製品を辞退するなどの環境配慮行動に企業や自治体がポイントを発行し、たまったポイントは商品や買い物などに使えるようになります。消費者の環境配慮行動を促進するために有効と認識しており、国における事業の進捗を注視し、事業の効果を調査研究してまいります。

・他の質問項目：公用車の集中管理について
プレミアム付商品券について

2日目

地域部活動について

村田俊太郎 議員

問 休日の運動部活動の段階的な地域移行の実現のため、地域団体等や部活動指導員の活用は可能かどうか、お考えをお聞かせください。

答 休日の運動部活動の受け皿となる地域団体等につきましては、現在、準備委員会を開催し、部活動の地域移行の進め方や学校現場の実態調査に取り組む予定であり、今後の方向性も踏まえ、調査して参りたいと考えております。また、部活動の地域移行での、部活動指導員の活用方法につきましても、今後の方向性も踏まえ検討して参りたいと考えております。

・他の質問項目：道路整備について
重層的支援体制について

教育予算の増額について

金銅 成悟 議員

問 ①通学路の維持管理を管理課に移管する考えは？②郡山北小、西小の運動場の砂を除去し真砂土を入れ替え整備する考えは？③教育現場の環境整備のため短時間勤務の学校用務員さんをフルタイム勤務とする考えは？

答 ①通学路は各学校が児童・生徒の通学の安全確保のために経路を指定している道路であるため、国・県・市など道路管理者と指定状況や通学路看板などについて情報共有、連携を図ります。②砂を除去し真砂土を入れ替えることでは抜本的な改善効果が見込めないため、限られた予算の中ではありますが問題解決に向け予算確保に努めます。③子どもたちの教育環境の充実や教職員の働き方改革の推進の観点からも、引き続き予算確保に努めます。

全産業のPR情報のネット発信について 発達障害支援について

問 ①全産業を平等に紹介する動画を発信するお考えは？日本人口の62%が使うYouTubeで本市に立ち寄りたと思うPR発信をする為に、市民活動との協働を提案します。②年々増える発達障害の子供さんの早期発見、早期支援を充実するには、幼児期では心理判定員、園児・児童期では子育て相談員の増強が必要と思うが？

答 ①動画作成には市の産業に関わりのある各団体等の協力、連携が必要不可欠です。今後、他市町村の事例等も研究し、情報発信について検討してまいります。②相談体制の充実のため、心理判定員の確保が課題であると考えております。また、子育て相談員による相談業務を行い、早期発見、早期支援に取り組んでまいります。